

### 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0173200502	
法人名	特定非営利活動法人 鷹の巣	
事業所名	グループホーム 菜	
所在地	上川郡剣淵町仲町23番2号	
自己評価作成日	平成24年11月22日	評価結果市町村受理日 平成24年12月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の尊厳、誇り、権利、主張を守り、今ある価値を認め力づける介護</li> <li>・自立支援と自己決定を尊重した介護</li> <li>・目配り、気配りの介護</li> <li>・明るく、楽しく、笑顔の介護</li> <li>・職員同士、支え合い、チームプレーの介護を職員の理念として取り組んでいる</li> <li>・剣淵町とグループホーム菜との災害時における救援支援に関する協定を締結している(剣淵町地域防錆計画に基づき、剣淵高等学校創明寮と菜が相互に連携し、一時避難等の災害応急対応策を円滑に進める事を目的としている)</li> <li>・月末防火、衛生安全点検を行っている</li> <li>・職員研修を重視している</li> </ul>
---

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani&amp;JigyosyoCd=0173200502-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani&amp;JigyosyoCd=0173200502-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成24年12月5日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p><b>&lt;就業環境の整備&gt;</b> 職員個々の努力や勤務状況を把握し、労働時間ややりがいなど、各自が向上心を持って働けるように職場環境・条件の整備に努めていると共に初任者研修の内容の充実や年間教育計画を立てて、段階に応じた研修の機会を確保している。また、職員の離職率は低く、勤続10年表彰を6人が受けている。</p> <p><b>&lt;地域との協力・連携&gt;</b> 地元剣淵高校と防災協定を結び、生徒と一緒に夜間を想定した合同避難訓練及び避難誘導訓練を実施し、緊急時に地域の協力が得られるように協力・連携体制を構築している。また、高校生の実習の受け入れや町内のお祭り等の行事参加、絵本の里の子ども達の訪問などで地元の人々との交流に努めている。</p>
---

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・毎月のカンファレンス時に、事業所理念、介護職員の理念を唱和している ・安心、安全、安楽と尊厳を忘れることなく、日々のケアに取り組み、実践している	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、初任者研修や年間内部研修計画の実施を通じて、その理念を共有して実践につなげている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	・地域の行事等に積極的に参加し、近隣住民、知人等との交流の機会を増している ・高校生の福祉実習の受け入れをしている ・事業所行事に地域住民を招いている	地元剣淵高校と防災協定を結び、生徒と一緒に夜間を想定した合同避難訓練及び避難誘導訓練を実施し、緊急時に地域の協力が得られるように協力・連携体制を構築している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・地域ケア会議、運営推進会議で認知症の方の行動、言動など、実践を通して体験を話し、地域住民に理解を促している		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・2カ月毎に行政、消防等参加の会議を実施 ・事業所の現況報告に対する、質疑応答や双方向の要望、対応等の検討を行っている	運営推進会議を2ヶ月毎に開催し、緊急時の協力体制や利用状況等について具体的に話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	・健康福祉課、地域包括支援センターとは常に連携を図り、現状報告をし、協力を頂いている	行政との緊密な連携・協力体制を確立し、ケアサービスの向上に活かしている。また、剣淵町や周辺市町村と情報交換や研修会開催等で地域のケアサービスの向上について協力関係を築いている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・日中は玄関に施錠を行わず、入居者の所在確認を常に行い、業務を行っている ・ご本人の状況に合わせ、常にご家族と相談の上、離床マット、サイドレールを安全確保の為に使用させて頂いている	初任者研修や年間内部研修で法令遵守を徹底し、指定基準における禁止の対象となる具体的な行為等を正しく理解し、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	・事業所内のカンファレンスの中でも常に周知し、職員間でもグレーゾーンに付いて注意し合い、声かけを行っている ・入浴時は身体状況を観察している ・虐待関係の研修参加を促している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・理事からの講習及び指導が有り、必要があれば直ぐに支援できる体制になっている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入居時の契約の際には十分な説明を行った上で契約を行っている ・疑問、質問等にはその都度対応している		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・運営推進会議時の内容やご家族の意見、要望は全て行政に報告すると共に、必要な場合は地域ケア会議の中でも報告を行っている	毎月、一人ひとりの生活の様子や健康状態等を通信で報告していると共に家族と話し合いながら、意見や要望等聞く機会を設けて運営に反映している。また、市町村等の相談窓口の啓発ポスター等も掲示している。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎月一回のカンファレンスの際に職員からの意見を確認、検討している ・毎日の申し送りにも時間をかけ、情報の共有を行いケアを行っている	カンファレンスやモニタリングを通じて、職員の意見や要望、提案を聞く機会を設け、そこでの意見や提案を運営に反映している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・職員個々の努力や勤務状況、能力、資格に応じた給与支給の対応を行っている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・職員教育の年度計画を作成し、法人内、事業所内で教育、講習を行っている ・職員の希望の研修、教育参加を支援している		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・法人内での職員交流、各事業所行事への参加、意見交換を行っている ・法人内での合同研修、講習の実施		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人の表情、言葉を注意して観察し、安心できる言葉かけ、姿勢で接する様に心がけている</li> <li>・入居前にご本人に直接面会し、ご本人、ご家族の希望を聞き、入居時の対応を検討している</li> </ul>		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族からの希望に合わせ、ご本人に必要な支援を検討し、その都度、実施、対応する様に努めている</li> </ul>		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居して直ぐは環境の変化に対応出来ない事が多い為、安心して過ごせる様な対応を心がけている</li> </ul>		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人の能力を見極め、できる事、できない事を把握し、一緒に行うようにしている</li> <li>・時には見守りだけでも必要な介護である</li> </ul>		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族と連絡を取り合いながら必要な支援を一緒に検討し、実施する様に努めている</li> </ul>		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馴染みの人との面会の際には、自室でゆっくり過ごせる様に配慮を行っている</li> <li>・外出については、職員、ご家族、友人の同伴で行っている</li> </ul>	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの友人や知人等の訪問支援や買い物や散歩等の外出で馴染みの場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者同士の関係を把握し、見守りを行い、時には職員が仲介役にもなる</li> <li>・関係が上手くいかない際には、早期に対応、検討する様に努めている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・退後もご本人、ご家族からの相談が有れば可能な限り対応、支援を行っている		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・ご本人又は、ご家族からの希望などを聞き、検討し、対応を行っている ・一人ひとりの生活歴や馴染みの生活を把握し、日々のケアに活かしている	センター方式の活用や嗜好調査等で、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、本人本位に検討している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・ご家族やご本人にこれまで関わってきた医療関係、サービス担当者などから状況の聞き取りを行っている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・今までの暮らしの状況や、日々の生活の中で少しずつ状況把握を行い、職員間でも話し合い、情報を共有している		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・毎月カンファレンスを開き、介護計画の見直し、ケア内容の変更の際にはご家族に相談した上で実施している ・毎月カンファレンス後にモニタリングの記録を実施している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、日々の引継ぎやカンファレンスで課題を明確にし、本人・家族と話し合いながら現状に即した介護計画を作成し、介護記録にその内容を記載している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・毎日介護記録を個別に記入し、職員間で情報の共有を行っている ・業務日誌には、職員の気づきが記入出来る欄を設けている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・状況に応じてケア内容を職員間で再検討し、地域に根ざした支援を行える様に努めている		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・町の行事等には見学や参加をする様になっている ・ご本人の希望に応じて、馴染みの美容室等への送迎を行っている ・絵本の里の子供等来訪し、交流している		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・入居前からのかかりつけ医への受診が出来る様に支援を行っている ・緊急時の受診の際には、ご家族への報告後、受診を行っている	受診は本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医となっている。また、日々の変化を見逃さないよう看護師と相談しながら早めの受診を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・訪問看護ステーションと契約しており、24時間連絡が取れる体制をとっている ・訪問時には常に情報、気づきを報告し、指示をもらっている			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院時には、ご本人の状況等を添書にまとめて、情報提供を行い、入院中の状況をご家族に確認し、必要時には直接面会し状況把握を行っている ・土別市立病院の地域医療室と連携を取っている			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・ご本人の状態変化は常にご家族へ報告を行い、また、対応に対する同意書を頂いている ・今後予想される事についてもお話した上で、重度化した際の対応をご家族と検討している	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら職員間で方針を共有している。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・年に二回、心肺蘇生法訓練を実施している			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・年に三回、避難訓練を行っている ・災害時に備え、剣淵高等学校の協力が得られる様に契約し、合同訓練も行っている	消火設備や通報装置の完備や食料の備蓄も行われている。また、剣淵町や地域と災害時の協力体制整備のための「協定書」を締結し、緊急時に地域の協力を得ながら速やかに避難できるような体制を構築している。		
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・ご本人を傷付けない様な言葉かけ、態度、姿勢で接する様に努めている	初任者研修や内部研修、接遇マナー講座を通じて、誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように周知している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・まずご本人がどうしたいかを確認している ・自己決定が困難な方には、2～3の選択肢から決定出来る様な声かけを行っている			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・水分補給、食事等は大体決まった時間に一緒に行うが、その時のご本人の状態によっては時間をずらす事も行っている			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・ご本人の好きな洋服を着ている ・自己決定が困難な方には、今まで好んで着ていた物を選ぶようにしている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人が食べやすい様な形態にし、職員も一緒に食事をしている</li> <li>・片付け等を出来る方にはお願いし、一緒にやっている</li> <li>・嗜好調査を行い、メニューに加えている</li> </ul>	食事が楽しみなものになるように嗜好を調査し、一人ひとりの力を活かしながら配膳や食後の後片付け等役割を見出している。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの食事を把握し、配膳している</li> <li>・水分量が少ない方には、声かけや、他の時間に小まめに水分補給が出来る様に支援している</li> </ul>			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後、口腔ケアを行っている</li> <li>・必要に応じて、義歯のブラッシング洗浄介助、義歯洗浄剤の使用を行っている</li> </ul>			
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人の排泄パターンに応じて、トイレの声かけ誘導、介助を行っている</li> <li>・夜間のみポータブルトイレを使用している方も居るので、その都度介助を行っている</li> </ul>	一人ひとりの力や排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の排便状況を把握している</li> <li>・必要な方には牛乳を摂取してもらい、粉寒天も使用している</li> <li>・腹部マッサージを実施している</li> </ul>			
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に2～3回程度、ご本人に確認した上で入浴介助を行っている</li> <li>・浴槽の出入りが困難な方については、リフトを使用し、負担軽減を図っている</li> </ul>	一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて週2～3回を目安に入浴を楽しめるように支援している。また、リフトの設置で職員の負担軽減を行っている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間帯の睡眠が十分に取れる様に支援を行っている</li> <li>・日中ホールで休まれている方については、状況に応じ、毛布を掛けたり、自室で休んでもらう様にしている</li> </ul>			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全員が一人ひとりの薬について確認が出来る様にしている</li> <li>・入居者別に毎月職員が交代で薬剤セットを行っている</li> </ul>			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人の出来る事を一緒に行ったり、散歩、ドライブ等で気分転換を図っている</li> <li>・レクリエーションには皆さんの好きな歌を多く取り入れている</li> </ul>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外に出掛けて、デパートやホテルで外食をしたり、状況によってはドライブに出掛けたり、地域の行事に参加している</li> <li>・ご家族、友人等との外出も支援している</li> </ul>	ホテルでの外食やデパートでの買い物、地域のお祭り等のイベント参加や紅葉見物等普段行けないような場所でも出かけられるように支援している。また、近隣への散歩や気分転換の為に職員が寄り添い戸外に出かけられるように支援している。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人の理解度とご家族との話し合いの下、お金を所持している</li> <li>・外出先などで買い物ができる様に支援している</li> </ul>		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話の希望が有れば応じている</li> <li>・かかって着た電話にはご本人に取り次ぎ、お話がゆっくり出来る様に支援している</li> </ul>		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節毎の行事等に合わせ、飾り付けと一緒にやっている</li> <li>・その時々の入居者の状況、又は、季節に合わせて、テーブルに花を飾っている</li> <li>・異食等の危険が有る場合は、危険な物を置かない様に配慮している</li> </ul>	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように工夫している。また、季節毎の花が飾られたり、行事参加等の写真の掲示や椅子・ソファの配置で本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール以外にもソファ、椅子などを設置し、入居者の好きな場所で過ごせる様に支援している</li> </ul>		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使い慣れた馴染みの家具や寝具等を持参してもらっている</li> <li>・ご本人の状況に合わせて、ベット、畳、マットレスを使用している</li> </ul>	本人や家族と相談しながら使い慣れた家具や寝具、仏壇等が持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、居室は、一人ひとりの力や身体状況に合わせて畳やベット、マットレス等を使用している。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自室にはトイレは無いので、自力でトイレへ行ける様に支援し、無理な方には自室にポータブルトイレを設置している</li> <li>・出来る限り一人ひとりが自立した生活が送れる様に工夫、支援を行っている</li> </ul>		

## 目標達成計画

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30	・事業所の理念の中にターミナルケアを目指す とあるが、医療機関の連携は有るものの、万が 一の場合は訪問診療が無いので、看取りケアが 出来ない為常に終末は入院になる	・終末ケアの追及、事業所での葬儀を執り行 う	・町立診療所に対する訪問診療の要請を行うこ とを検討している	12カ月
2	30	・土日、祝日には町立診療所が休診となり、緊 急時の主治医への受診が出来ない	・医療機関の問題を改善することは困難であ るため町に働きかけは行う事は検討するが、 緊急受診をしなくても良い様に個々の体 調把握をしっかり行い、日々のケアに取り組 む	・入居者一人ひとりに対する体調観察の徹底 ・体調変化を見逃さず、早めに受診、訪問看護 師に相談、指示をもらう ・職員間の連携強化、情報の共有の徹底	12カ月
3	28	・町内でのデイサービスの需要は増加してい るが、町内にはサービスが一か所しかなく、受け 入れ先が町外になっている	・グループホームでのデイサービスの受け入 れ	・健康福祉課、地域包括センターと連携を強化 し、ニーズの把握を行う ・職員を増やし、ニーズに対応できる準備を整 える	12カ月
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。